

原子力事業者防災訓練における 内部火災シナリオ案について

2021年12月14日
東京電力ホールディングス株式会社

注意：本資料はシナリオ非提示型訓練（ブラインド訓練）におけるシナリオ情報を含みますので、一部非公開となります。



1. 訓練目的

内部火災事象に対して、火災特有のマalfアンクシヨン（プラント状態の把握を困難とする想定、煙等による復旧活動への影響等）を付与し、要員の事故対処能力向上を図る。

【訓練シナリオ作成時のポイント】

本訓練により事故対応能力向上を図るために、以下のポイントでシナリオ・マalfアンクシヨンを設定する。

- 1 複数区画での火災発生を想定。
- 2 火災事象がその後の消火戦術やプラント復旧に影響を与える。
- 3 火災規模を大きくする状況を付与するため、耐震設計上破損しない機器の破損による火災発生や消火設備の不動作を想定。
- 4 原災法15条に該当するGE事象及び炉心損傷を発生させるため、内部火災だけでなく、必要により地震等外部事象による不具合を重畳させる。
- 5 適合炉1基は炉心損傷に至る。
- 6 実働による模擬消火活動訓練を行う。
- 7 公設消防による消火活動はシナリオ上期待しない。

2. シナリオ概要 シナリオタイムライン

シナリオ情報のためマスキング

シナリオ情報のためマスキング

4. マルファンクションの設定

シナリオ情報のためマスキング

シナリオ情報のためマスキング

シナリオ情報のためマスキング

シナリオ情報のためマスキング

シナリオ情報のためマスキング

シナリオ情報のためマスキング

シナリオ情報のためマスキング